

柿 特報 No.4



H29.6.30

J A中野市営農センター

J A中野市柿研究会

6月7日頃梅雨入りと気象庁から発表がありました。空梅雨傾向となっていますが、今後の降雨により落葉病の感染が拡大してくる恐れがあります。薬剤散布は予防を心がけ、できるだけ降雨日の前日に防除を実施するようにしてください。

◆昨年、カキノヘタムシガ（ヘタムシ）が発生した園地（収穫前落果の発生園）では、スミチオン水和剤40（収穫45日前、3回）の800倍を加用散布してください。

病害虫防除

隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意してください

●7月上中旬の散布（7月5日～7月15日頃）

散布薬剤	水	100ℓ	散布日	7月	日
	展着剤	10mℓ	散布量		ℓ
	キノンドーフロアブル	100mℓ（収穫14日前まで、5回以内）			
対象病害虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病				
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する				
注意事項	*カイガラムシ類の発生が多い場合は、スプラサイド水和剤1500倍（30日前、3回）を加用する。 *すす点病が発生する園地は、キノンドーフロアブルに代えて、ベルコート水和剤1,500倍（14日前、3回）を散布する。				

◆柿 栽培管理講習会の開催について

期 日：7月4日（火） 午前9時 南部共選所 集合
午前11時 科野事業所 集合

内 容：摘果のポイントについて 防除等、栽培管理について

農作業中の事故にご注意下さい

- ・ハシゴは、チェーンや紐で止め、開かないようにして使用する。
- ・ハシゴの一番上の段に乗って作業は行なわないようにする。
- ・梅雨期は降雨により地盤が緩みます。傾斜地でのハシゴ・SSの走行等に十分注意する。